

## 麻酔科

岡田俊樹

平成 26 年度も麻酔科医の人員確保を維持することができ、拡大した手術枠を維持継続し、予定手術のみならず緊急手術についても各科の要望に十分こたえることができた。麻酔科管理手術症例数は前年比で 3%程度、特に日勤帯での予定手術施行率が増加し、時間外延長症例が減少した。麻酔科術前外来も順調な運営を重ね、低リスク症例においては術前入院日数の短縮が、高リスク症例に対しては早い時期からの綿密な術前評価が可能となった。

また、日常臨床（安全快適な麻酔管理）と若手医師への教育に継続して力を注いできた成果として、平成 26 年度も麻酔科医の数を維持することができ、従来の手術枠および麻酔科外来とも継続予定である。

研究面では、重症合併症を有する患者の大手術など、周術期管理に難渋した希少な症例の報告だけでなく、日々の業務で遭遇した問題点を解析・検討することにより、以下の臨床研究を遂行あるいは計画中である。

### 1. NHO ネットワークグループ（外科・麻酔）としての研究

当院外科を中心として本年度は術後譫妄調査を行っている。

2. 術後疼痛管理法の確立
3. 術前経口補液食の安全性の検討
4. HIV 陽性手術患者の周術期管理
5. 重症患者・大手術の周術期管理

### 【2014 年度研究発表業績】

B-4

中村真子、伊藤賢佑、春原真理、伊藤千明、門野環奈、天野栄三：子宮頸癌の高線量率組織内照射アプリケータ挿入術に対する脊髄くも膜下麻酔におけるフェンタニル添加の有用性についての検討。日本麻酔科学会第 61 回学術集会、横浜、2014 年 5 月

寺西理恵、長井友紀子、小林恵子、島川宜子、三島恭子、岡田俊樹：遊離皮弁を伴う頭頸部癌手術における術後合併症の後方視的検討。日本麻酔科学会第 61 回学術集会、横浜、2014 年 5 月

島川宜子、天野栄三、七野力、森脇克行、岡田俊樹：術後譫妄に対する多施設アンケート調査。日本麻酔科学会第 61 回学術集会、横浜、2014 年 5 月

田中康智、草野真悠子、北方秀憲、春原真理、松村実穂、渋谷博美：McGRATH MAC に

よる喉頭・舌に対する圧力の比較検討～直視 vs 間接視～。日本麻酔科学会第 61 回学術集会、横浜、2014 年 5 月

宮崎裕貴子、楠恵里佳、井上由紀子、石井裕子、牧野裕美、松田智明：胃食道逆流症患者の全身麻酔導入時における胃内容物の検討。日本麻酔科学会第 61 回学術集会、横浜、2014 年 5 月

中川真美、草野真悠子、渋谷博美、岡田俊樹：未破裂脳動脈瘤にてんかんを疑う覚醒遅延を認めた 1 症例。日本臨床麻酔学会第 34 回大会、東京、2014 年 11 月 1 日

#### B-6

村田彩奈、中村真子、上田祥弘、寺西理恵、伊藤千明、天野栄三：長期ステロイド投与患者の体位変換時に血管内留置針固定用ドレッシング貼付部位に真皮剥離をきたした一例。日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、神戸、2014 年 9 月

武智彩、中村真子、宮崎裕貴子、井上由紀子、三島恭子、渋谷博美：大量の深部静脈血栓症を合併した腹部腫瘍摘出術に対する麻酔経験。日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、神戸、2014 年 9 月

草野真悠子、田中康智、春原真理、井上由紀子、松村実穂、松田智明：スワングアンツカテーテルが抜去困難となった 2 症例。日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、神戸、2014 年 9 月

春原真理、村田彩奈、中川真美、小林恵子、牧野裕美、岡田俊樹：小児期頸部横紋筋肉腫に対する放射線照射が原因と考えられる成人困難症例。日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、神戸、2014 年 9 月

中川真美、草野真悠子、北方秀憲、石井裕子、島川宜子、岡田俊樹：スガマデックス投与直後に皮膚症状なく循環虚脱をきたした一症例。日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、神戸、2014 年 9 月

#### B-7

田中康智：McGRATH MAC による喉頭・舌に対する圧力の比較検討～直視 vs 間接視～。第 27 回近畿麻酔研究会、大阪、2014 年 8 月

#### B-8

渋谷博美：充実した時間を過ごすための、大阪医療センターの取り組み。第 5 回女性医

師支援シンポジウム ふくしま女性医師支援ネットワーク研修会 2014 in 県北・相馬、  
福島、2014年9月

渋谷博美：充実した時間を過ごすための大阪医療センターの取り組み。第44回奈良麻  
酔集中治療セミナー、橿原、2014年11月